



証券コード：9913

日邦産業株式会社

証券コード：9913

2023年3月期 決算説明資料

2023年 5月12日
代表取締役社長
岩佐 恭知

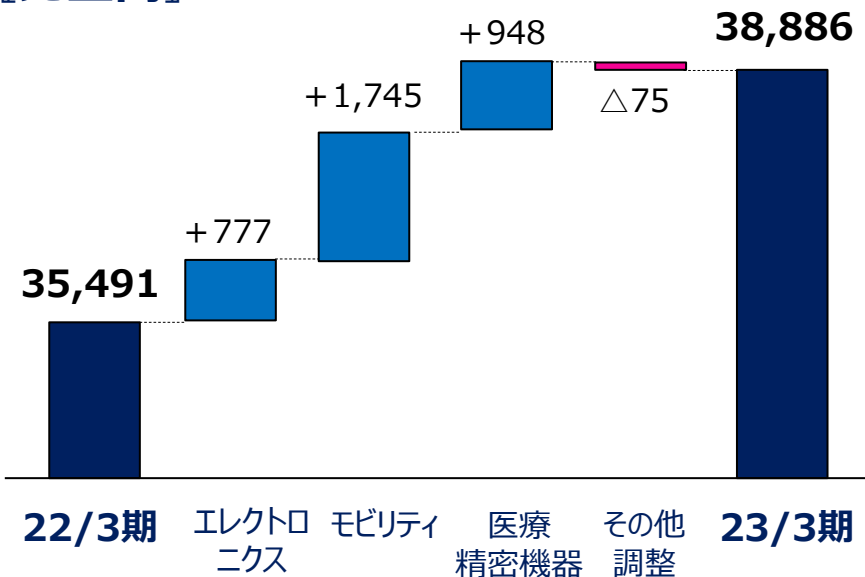
2023年/3月期 連結業績（1）



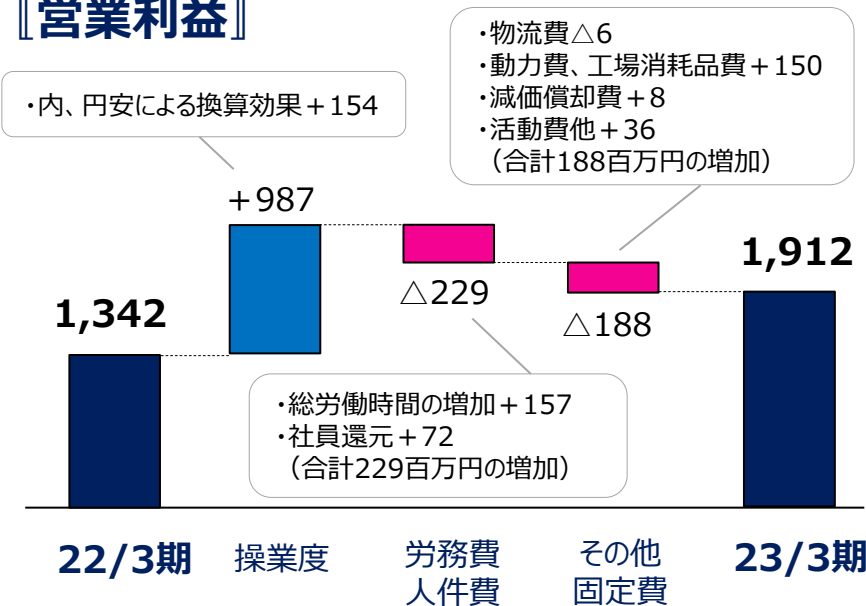
（単位：百万円）

科目	22/3期	23/3期 計画	23/3期 実績	前年比	増減額
売上高	35,491	37,500	38,886	110%	3,395
営業利益	1,342	1,790	1,912	142%	570
経常利益	1,423	1,710	1,871	131%	448
当期純利益	1,031	1,170	1,269	123%	238

【売上高】



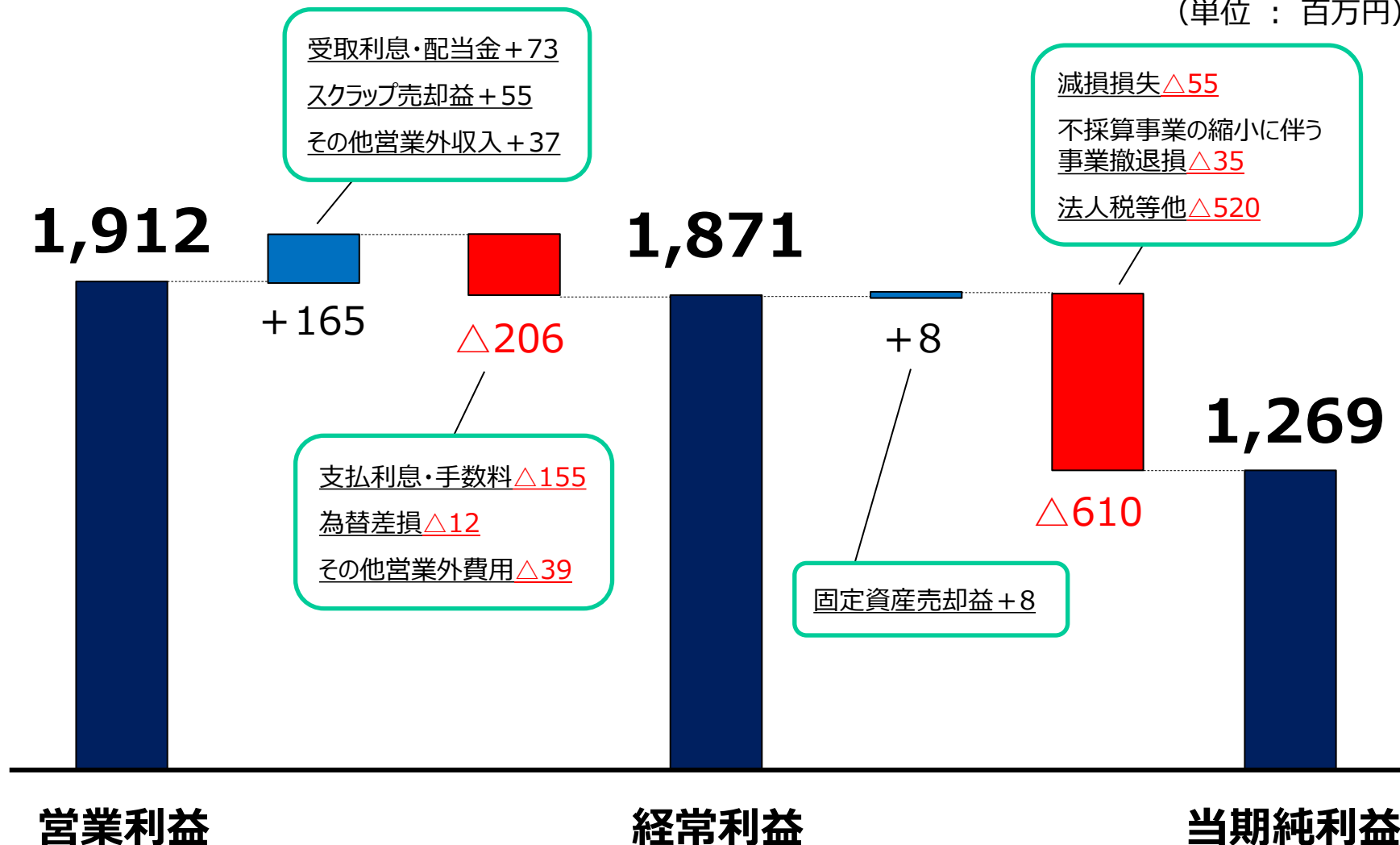
【営業利益】



2023年/3月期 連結業績（2）



（単位：百万円）

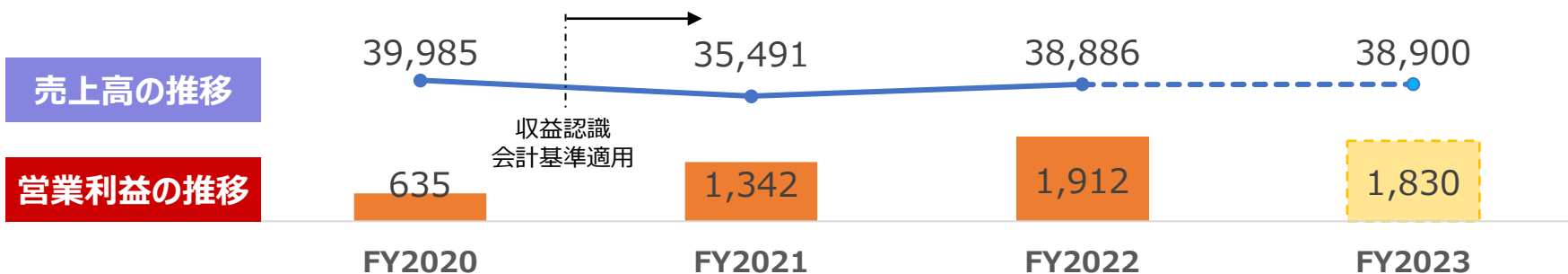


2024年/3月期 連結業績の見通し



(単位：百万円)

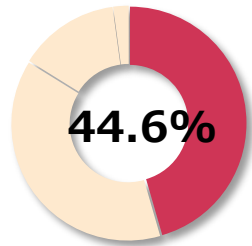
科目	23/3期 実績	24/3期 見通し	前年比	補足コメント
売上高	38,886	38,900	100%	<p>1. 連結通期業績の見通し</p> <p>①半導体の供給不足が一部の業界・地域で解消されず残ること ②資源価格（動力費を含む）の高騰が継続していること ③各国の経済安全保障等の取組み影響がサプライチェーンに及んでいること</p> <p>上記のマイナス要因を認識する一方、これまで取り組んできた施策による効果の発現をプラス要因として認識しており、24/3期の通期業績見通しとしては、売上高は、<u>ほぼ前年横ばい</u>となる見通しですが、営業利益は、「中期経営計画2028」の位置づけとして定める予定の「ギアチェンジ・フェーズ」に向けた、<u>先行投資型の成長投資</u>に係る経費増の影響等を踏まえ、減益の見通しとしております。</p> <p>2. 配当金 持続的な利益成長にあわせた増配を基本方針として定め、配当総額、配当性向ともに持続的に向上させていくことを目指してまいります。24/3期の連結業績の見通しと、新たな設備投資計画等を勘案した上で、1株当たり40円を計画しました。</p>
営業利益	1,912	1,830	96%	
経常利益	1,871	1,810	97%	
当期純利益	1,269	1,270	100%	
年間配当金	1株当たり 33円(予定)	1株当たり 40円	+7円	



セグメント別業績 (エレクトロニクス)



売上高構成比

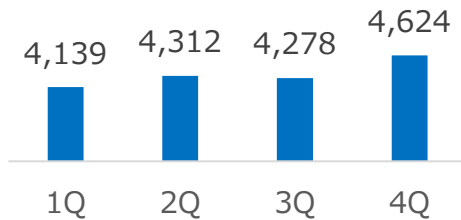


増収

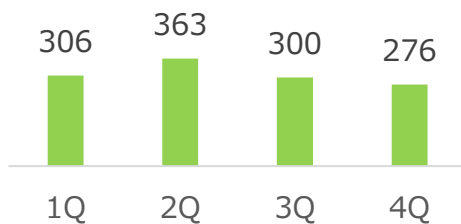
減益

■ 23/3期 業績推移 (Q毎)

< 売上高 >



< 営業利益 >



23/3期の業績概況

(単位：百万円)

	22/3期 累計	23/3期 累計	前年比	増減額
売上高	16,576	17,353	105%	+777
営業利益	1,324	1,245	94%	△79

- 調整局面に入ったスマートフォン関連部材の受注減少の影響を受けたが、通信基地局やサーバー向けの配線板材料と、ベトナム工場のドライフィルム事業、及び沖縄工場のウエハ研磨用キャリアの受注が堅調に推移し増収。
- ドライフィルム事業の拡大（ベトナム工場の生産能力の増強、タイ(コラート)工場の量産立上げ)を計画通り実施し、これにかかる費用を計上。

24/3期の業績見通し

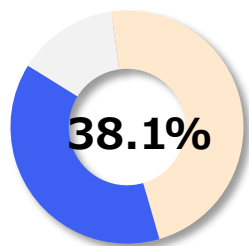
	23/3期	24/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	17,353	17,400	100%	+47
営業利益	1,245	1,245	100%	±0

■ 増減要因

- スマートフォン関連部材の受注は、調整局面が当面継続する見通し。
- 配線板材料、ウエハ研磨キャリアの受注は、引き続き堅調に推移する見通し。
- スマートフォン関連部材の回復と半導体市場の先行きが不透明ではあるが、エレクトロニクスセグメントとしては、売上高、営業利益ともほぼ前年横ばいとなる見通し。

セグメント別業績 (モビリティ)

売上高構成比

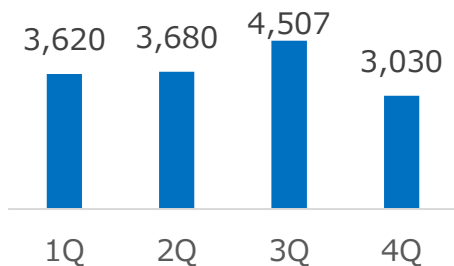


増収

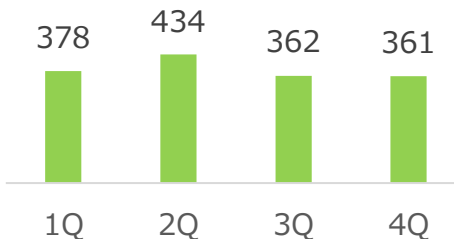
増益

■ 23/3期 業績推移 (Q毎)

< 売上高 >



< 営業利益 >



23/3期の業績概況

(単位：百万円)

	22/3期 累計	23/3期 累計	前年比	増減額
売上高	13,092	14,837	113%	+1,745
営業利益	1,042	1,535	147%	+493

- アセアン主力工場（タイ（バンコク）、インドネシア工場等）のパワートレイン系部品の受注が好調に推移し、半導体の供給不足によって減産を余儀なくされていた国内顧客の生産も一定の水準へ回復。
- 自動化を推進し、生産性の向上を図ったことによる原価低減の効果。

24/3期の業績見通し

	23/3期	24/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	14,837	14,900	100%	+63
営業利益	1,535	1,470	96%	△65

■ 増減要因

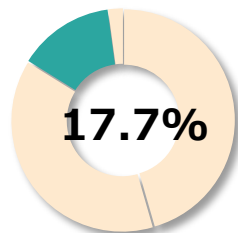
- 自動車の生産は回復基調であるが、半導体の供給不足が一部の地域で解消されず残ることや、各国の経済安全保障等の取組み影響がサプライチェーンに及んでいるマイナス要素を踏まえ、24/3期の売上高は、ほぼ前年横ばいとなる見通し。
- 一方、24/3期の営業利益は、「中期経営計画2028」の位置づけとして定める予定の「ギアチェンジ・フェーズ」に向けた先行投資型の成長投資（自動化の更なる横展開、巻線技術を応用した製品開発等）による経費増と、資源価格（動力費を含む）の高騰が継続している影響等を踏まえ、減益となる見通し。

セグメント別業績（医療・精密機器）



（単位：百万円）

売上高構成比

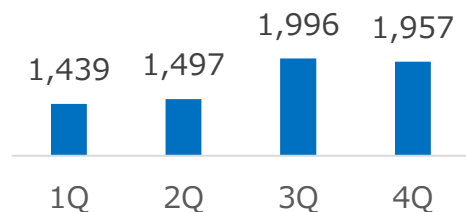


増収

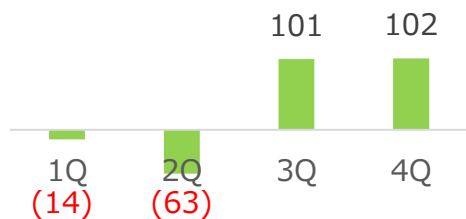
増益

■ 23/3期 業績推移（Q毎）

< 売上高 >



< 営業利益 >



23/3期の業績概況

	22/3期 累計	23/3期 累計	前年比	増減額
売上高	5,941	6,889	116%	+948
営業利益	△17	126	-	+143

- ・ タイ（コラート）工場の医療機器部品の受注が堅調に推移。
- ・ 半導体・電子部品の供給不足による減産影響を受けていたプリンター関連部品の受注も地域格差は残るものの回復が進んだ。

24/3期の業績見通し

	23/3期	24/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	6,889	6,900	100%	+11
営業利益	126	100	79%	△26

■ 増減要因

- ・ タイ（コラート）工場の医療機器部品の受注は、引き続き堅調に推移する見通し。
- ・ プリンター関連部品の受注は、顧客の生産地変更や生産量の増減により先行きは不透明。
- ・ 24/3期は、プリンター関連部品の受注減少を医療機器部品の受注でカバーし、売上高はほぼ前年横ばいとなる見通しだが、営業利益は、医療機器部品の比重を高めるために行う、国内の生産能力の増強投資による経費増の影響等を踏まえ、減益となる見通し。

中期経営計画2022の結果



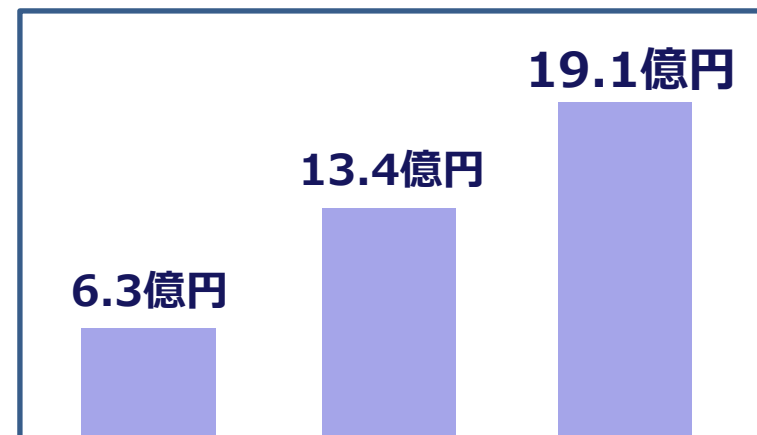
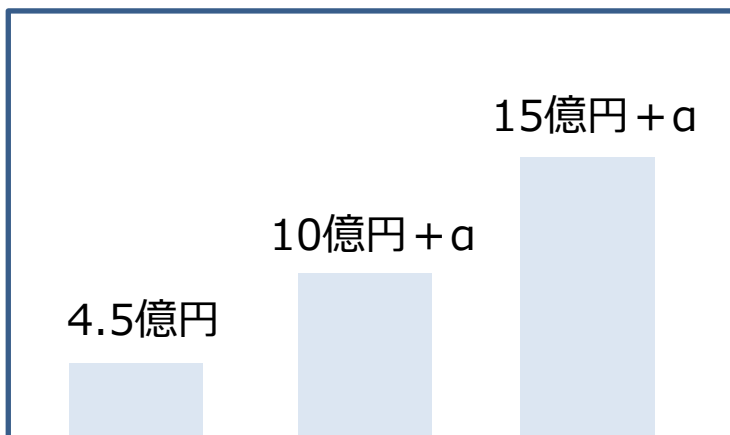
計画 (2020年11月6日開示)

実績

連結営業利益の3カ年累計額：**30億円**

連結営業利益の3カ年累計額：**38.8億円**

営業利益



FY2020 FY2021 FY2022

FY2020 FY2021 FY2022

ROE

… 9.0%以上

0.1% **10.7%** **11.1%**

DEレシオ

… 0.6倍以下

0.50倍 **0.46倍** **0.41倍**

配当

5円 10円+a 15円+a

10円 **22円** **33円**
(※予定)

※FY2022の配当金額は、第72期定時株主総会での承認を前提としております。

中期経営計画2022の結果 ~ セグメント別 ~



事業セグメント		2020年度		2021年度		2022年度	
		計画	実績 (計画比)	計画	実績 (計画比)	計画	実績 (計画比)
エレクトロニクス	売上高	165億円 →	176億円 (107%)	170億円 →	196億円 (115%)	180億円 →	202億円 (112%)
	営業利益	10億円 →	10.3億円 (103%)	11億円 →	13.2億円 (120%)	12億円 →	12.4億円 (103%)
モビリティ	売上高	160億円 →	159億円 (99%)	170億円 →	181億円 (106%)	180億円 →	201億円 (111%)
	営業利益	4億円 →	4.8億円 (120%)	9億円 →	10.4億円 (116%)	11.5億円 →	15.3億円 (133%)
医療・精密機器	売上高	60億円 →	59億円 (98%)	60億円 →	63億円 (105%)	65億円 →	75億円 (115%)
	営業利益	△0.5億円 →	△0.4億円 (-%)	±0円 →	△0.2億円 (-%)	1億円 →	1.2億円 (120%)

※売上高の数値は、計画との比較のご参考として収益認識会計基準適用前の売上高を記載しております。

日邦産業株式会社
経営企画部 水口、藤浪、小清水

電話 : 052-218-3161
E-Mail : ir@nip.co.jp
HPアドレス : <https://www.nip.co.jp/>

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、当連結会計年度末時点での目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

なお、本業績見通しにおける為替レートは、1米ドル = 133円、1タイバーツ = 3.8円で計算しております。